

課題名：子育て認知行動療法によるASDリスク児への早期予防介入の研究開発

代表機関／代表者：国立大学法人秋田大学／太田英伸

分担機関：株式会社ORSO、慶應義塾大学、国立大学法人北海道大学、国立大学法人金沢大学

研究期間：令和7年9月～令和10年3月

研究開発目的

- ASDリスクをもつ乳幼児とその養育者を対象に児の発達特性を改善し、社会適応を促す心理療法「子育てCBT 行動実況中継賞賛法」を、自宅で効率的に実施できるシステム「デジタル・セラピー（dセラピー）」アプリを開発し、遠隔モニタリングの仕組みもシステム化することで専門家の不足する地域の療育支援事業をサポートする。

取り組み

- 継続モチベーションの高い家庭用アプリの開発
- 専門家が遠隔で支援できるモニタリングツールの開発
- 実際の療育事業者と連携した実証研究
- 事業化に向けたアライアンスの構築

期待される成果

- 令和10年度中に事業化の見通し
- 児童の発達状況のサイエンスに基づく客観的可視化の実現
- 専門家が不足する過疎地域における療育支援不十分の解消
- 専門家の育児支援力が見える化・効率化するDX導入

dセラピーアプリ

